

平成30年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」における矢田西中学校の結果の分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、平成30年4月から7月末までの期間に、2年生を対象として、「実技に関する調査」と「質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただきため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、体力等の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科も含め、総合的に子どもの体力向上をめざしています。

1 調査の目的（全国体力・運動能力、運動習慣等調査に関する実施要領より抜粋）

- (1) 子供の体力・運動能力等の状況に鑑み、国が全国的な子供の体力・運動能力の状況を把握・分析することにより、子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各公私立学校が全国的な状況との関係において自らの子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子供の体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各国公私立学校が各児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2 調査の対象

- ・国・公・私立学校の中学校第2学年、中等教育学校第2学年、特別支援学校中学部第2学年の原則として全生徒
- ・矢田西中学校では、2年生 41名

3 調査内容

- ・生徒に対する調査
 - ア 実技に関する調査（以下「実技調査」という。測定方法等は新体力テストと同様）
中学校調査では、以下の種目を実施する。
[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ（※持久走か20mシャトルランのどちらかを選択）
 - イ 質問紙調査
運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査（以下「生徒質問紙調査」という。）を実施する。

平成30年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証シート

全体の概要

矢田西	中学校	生徒数	41
-----	-----	-----	----

平均値

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール 投げ	体力合計点
男子	28.48	32.57	51.24	55.81	382.30	83.70	7.80	186.86	20.60	46.55
大阪市	29.05	27.74	41.48	52.14	410.43	85.66	8.06	192.58	20.29	41.72
全国	28.84	27.36	43.44	52.24	392.65	86.06	7.99	195.62	20.55	42.32
女子	22.94	25.38	49.19	50.81	—	65.75	8.53	174.81	13.63	54.38
大阪市	24.06	23.91	44.95	47.47	304.56	59.88	8.89	168.48	12.96	50.14
全国	23.87	23.87	46.22	47.37	286.85	59.87	8.78	170.26	12.98	50.61

結果の概要

男子は、握力・シャトルラン・立ち幅跳び以外の種目で全国を上回り、合計点でも大きく上回った。

女子は、握力以外のすべての種目で全国を上回り、合計点でも大きく上回った。

課題である立ち幅跳びについては、男子は今年度も全国平均に及ばなかったが、昨年度からは向上している。女子は全国平均を上回り、昨年度からも向上している。

保健体育の授業については男女ともに肯定的であり、授業の中での達成感が高いといえる。またICTの活用や主体的・対話的な深い学びが実践されていることもうかがえる。

健康への関心は決して低くなく、朝食の摂取率も高くなっているが、睡眠時間が短い生徒の割合が高く、携帯やゲーム機などの使用時間が長いという課題がある。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

これまで体育の授業のなかで、集団行動・集団規律を大切にしながら、運動が得意・苦手にかかわらず、目的意識をもって意欲的に取り組めるよう、個々に応じた指導を行ってきた。また、ICT機器を活用して仲間の体の動きを撮影し、互いにアドバイスしあったり、グループで話し合いをさせたりするなど、協働的な学びを取り入れてきた。こうした取り組みの成果によって、授業への充足度だけでなく、運動やスポーツへの興味・関心や意欲が高く、着実に体力・運動能力が高まってきた。特に、総合評価Eに分類される生徒がいないなど、運動が苦手な生徒もしっかりと体力・運動能力を向上させてきたことがわかる。

また、体育大会などの学校行事、日常の活動に一生懸命取り組み、成果を出すことで、達成感が高まり、意欲的に何でも取り組もうという姿勢が培われている。

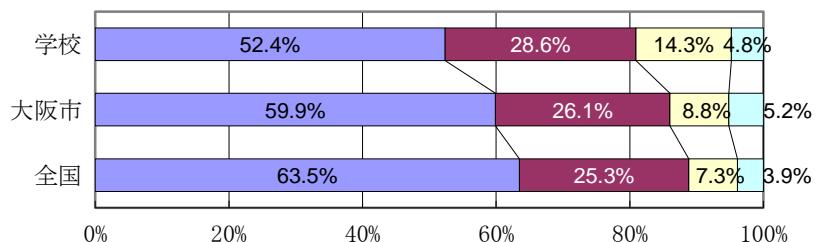
今後も保健体育科の授業で基礎的な体力・運動能力や体力向上への意欲を育成するとともに、体育的行事の充実などに取り組んでいく。また、小規模校がゆえに難しい面のある部活動の活性化、食育や基本的生活習慣の確立にも一層取り組み課題解決につなげていく。

運動やスポーツについて（男子）

質問番号	質問事項
------	------

1

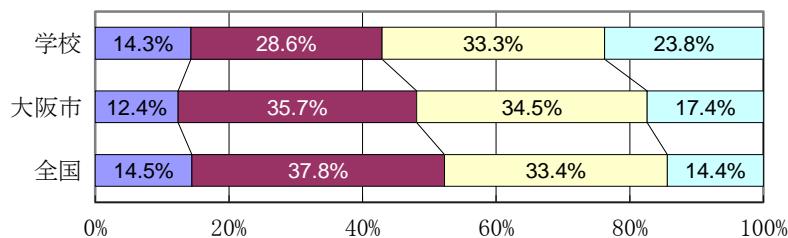
運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか



□好き
■やや好き
□やややきらい
□きらい

2

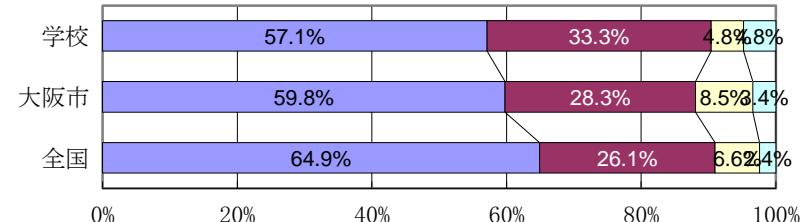
自分の体力・運動能力に自信がありますか



□自信がある
■やや自信がある
□ややや自信がない
□自信がない

3

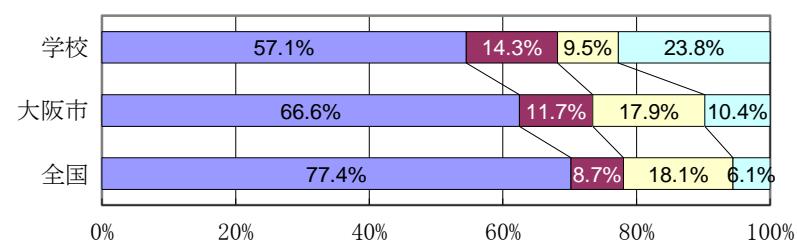
あなたにとって運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツは大切なものですか



□大切
■やや大切
□ややや大切でない
□やや大切でない

4

学校の部活動や地域のスポーツクラブに所属していますか



□運動部
■文化部
□地域のスポーツクラブ
□所属していない

成果と課題

男子は運動部や地域のスポーツクラブに所属する生徒の割合が比較的少なく、体力・運動に自信がない生徒が多い。しかし運動は大切だと思う生徒は多く、健康への関心は高い。保健体育の授業や体育的行事の取り組み、健康教育の取り組みの成果があらわれている。

今後の取組

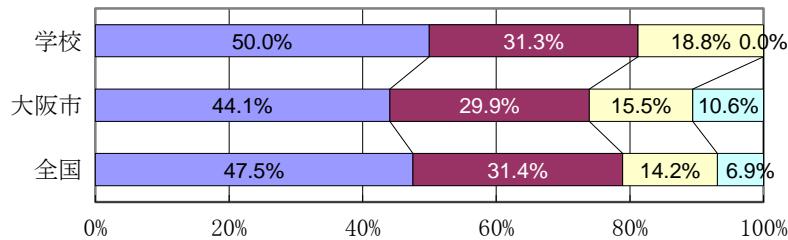
小学校とも連携して、小規模校がゆえに選択肢が限られる運動部であっても、多くの生徒が参加し充実感が得られるよう取り組んでいく。また部活動以外でも運動やスポーツへの関心を高め、生涯スポーツへの意識を持たせる必要がある。

運動やスポーツについて（女子）

質問番号	質問事項
------	------

1

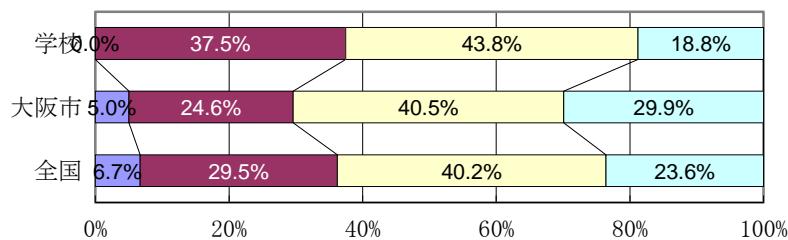
運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすること好きですか



- 好き
- やや好き
- やややきらい
- きらい

2

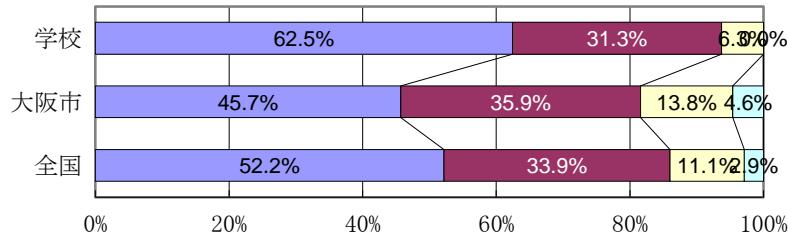
自分の体力・運動能力に自信がありますか



- 自信がある
- やや自信がある
- あまり自信がない
- 自信がない

3

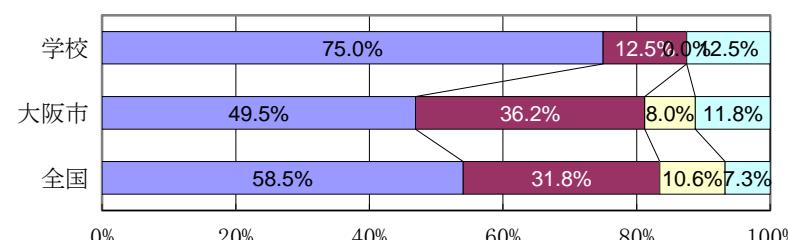
あなたにとって運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツは大切なものですか



- 大切
- やや大切
- あまり大切でない
- 大切でない

4

学校の部活動や地域のスポーツクラブに所属していますか



- 運動部
- 文化部
- 地域のスポーツクラブ
- 所属していない

成果と課題

女子は比較的運動部に所属する生徒の割合が高く、運動が好きで、体力に自信がある生徒が多い。また運動が大切だと思う生徒も多く、健康への関心も高い。保健体育の授業や体育的行事の取り組み、健康教育の取り組みの成果があらわれている。

今後の取組

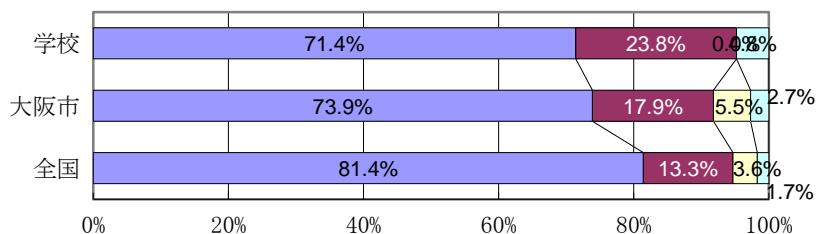
小学校とも連携して、小規模校がゆえに選択肢が限られる運動部であっても、多くの生徒が参加し充実感が得られるよう取り組んでいく。また部活動以外でも運動やスポーツへの関心を高め、生涯スポーツへの意識を持たせる必要がある。

ふだんの生活について（男子）

質問番号	質問事項
------	------

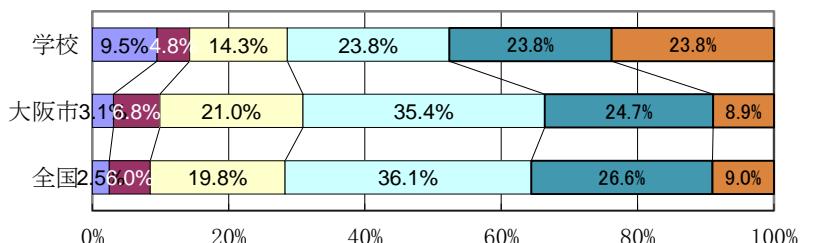
7

朝食は毎日食べますか(学校が休みの日も含める)



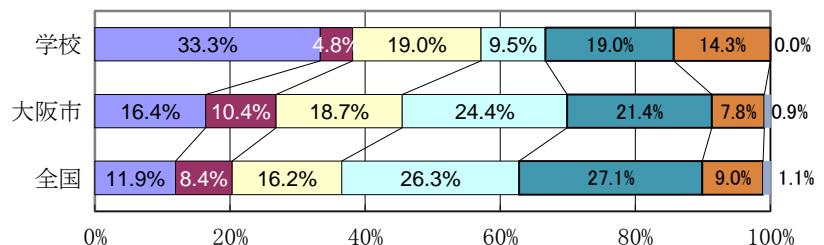
9

毎日どのくらい寝ていますか



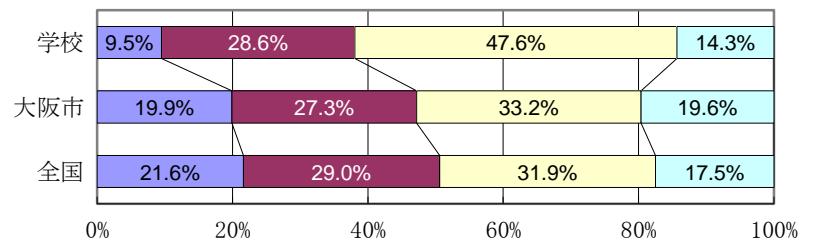
11

平日、1日にどのくらいの時間、テレビ・DVD・ゲーム機・スマートホン・パソコンなどの画面を観ていますか



13

家人の人から運動(体を動かす遊び含む)やスポーツを積極的に行なうことを勧められることありますか



成果と課題

朝食の摂取率は高くなっているが、「毎日食べる」の割合が少なく、「全く食べない」生徒の割合が高い。また、睡眠時間が6時間未満の生徒の割合が非常に高く、テレビ、スマートフォン等の画面を1日5時間以上見ている生徒の割合も非常に高い。基本的生活習慣に課題があるとともに、健康や体力向上に留意した生活ができていない生徒が多い。食育や健康教育に積極的に取り組んでおり、健康や運動に関心は高いが、まだ自分の生活を自ら律する態度が育っていないといえる。

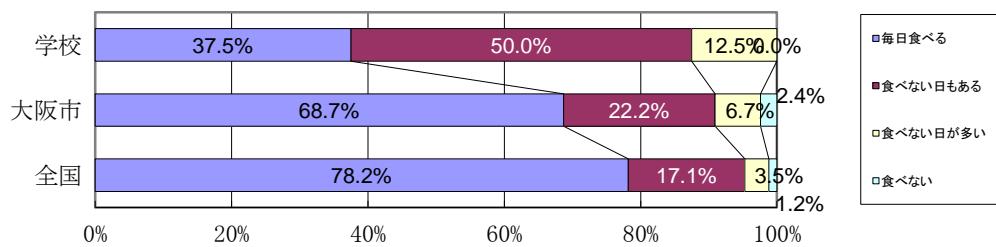
今後の取組

家庭の協力が難しい場合も多いことから、食育や睡眠等の学習、保健体育の授業などで、自分の健康や体力向上についての関心を高めるとともに、知識だけでなく行動を伴う理解につなげていきたい。

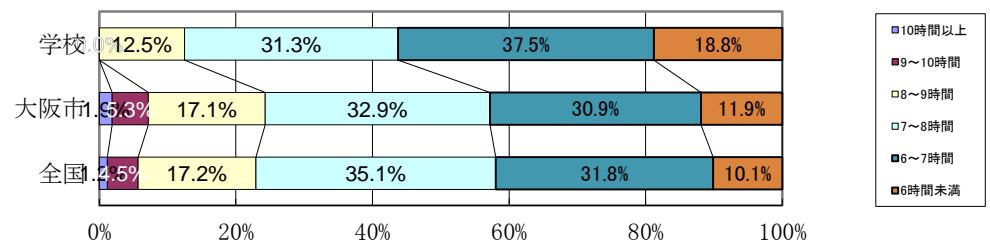
ふだんの生活について（女子）

質問番号	質問事項
------	------

7
朝食は毎日食べますか (学校が休みの日も含める)



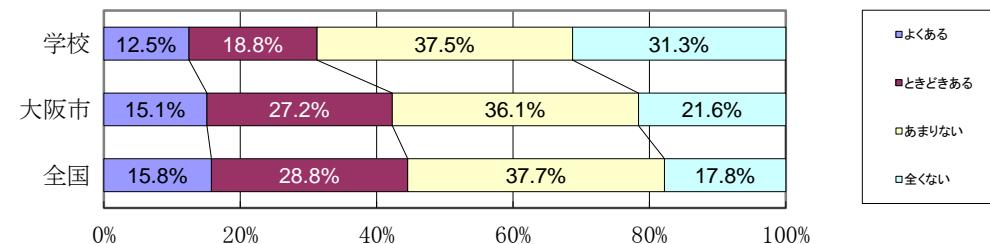
9
毎日どのくらい寝ていますか



11
平日、1日にどのくらいの時間、テレビ・DVD・ゲーム機・スマートホン・パソコンなどの画面を覗いていますか



13
家人の人から運動(体を動かす遊び含む)やスポーツを積極的に行なうことを勧められることありますか



成果と課題

朝食を「毎日食べる」の割合が少なく、喫食率がやや低くなっている。また、睡眠時間が6時間未満の生徒の割合が非常に高く、テレビ、スマートフォン等の画面を1日5時間以上見ている生徒の割合も非常に高い。基本的生活習慣に課題があるとともに、健康や体力向上に留意した生活ができていない生徒が多い。食育や健康教育に積極的に取り組んでおり、健康や運動に关心は高いが、まだ自分の生活を自ら律する態度が育っていないといえる。

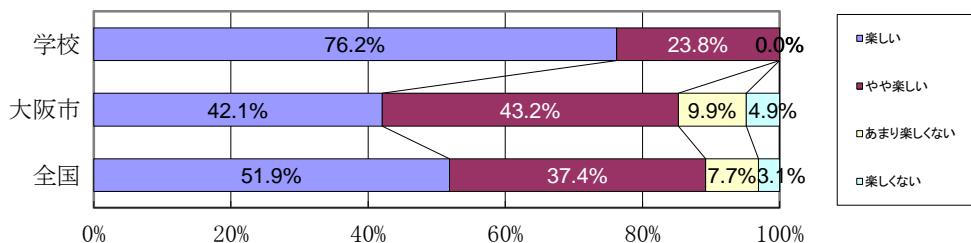
今後の取組

家庭の協力が難しい場合も多いことから、食育や睡眠等の学習、保健体育の授業などで、自分の健康や体力向上についての関心を高めるとともに、知識だけでなく行動を伴う理解につなげていきたい。

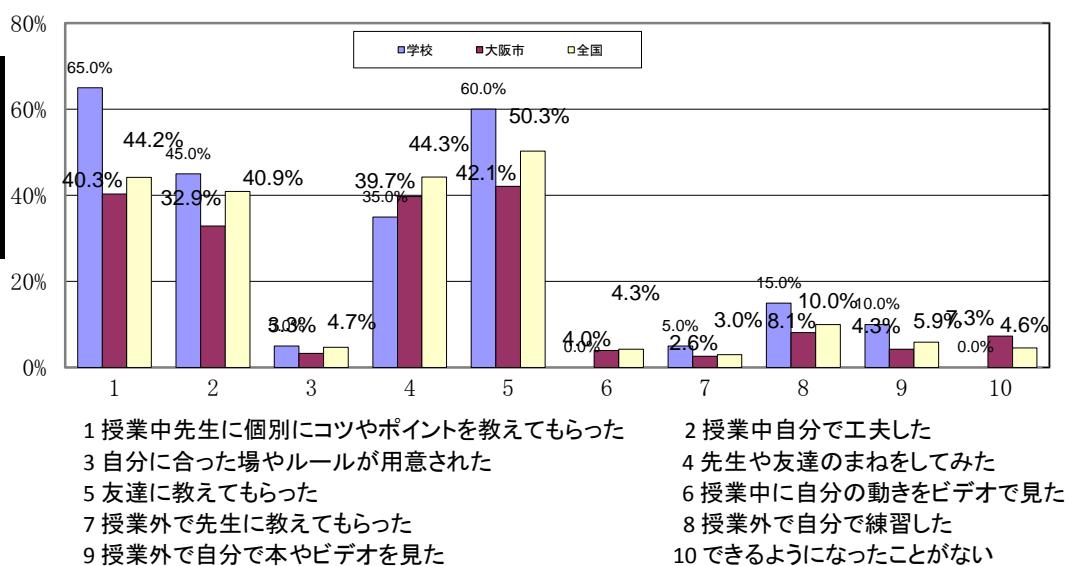
保健体育の授業について（男子）

質問番号	質問事項
------	------

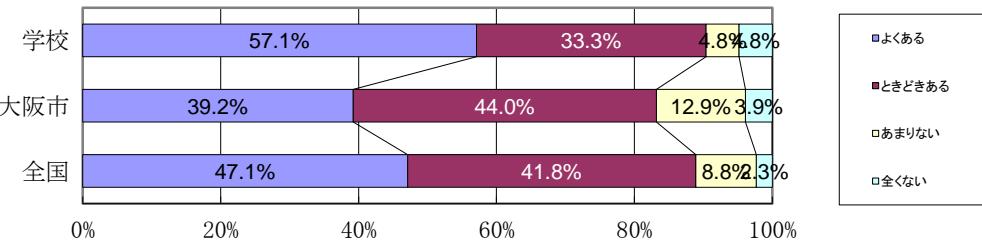
17	保健体育の授業は楽しいですか
----	----------------



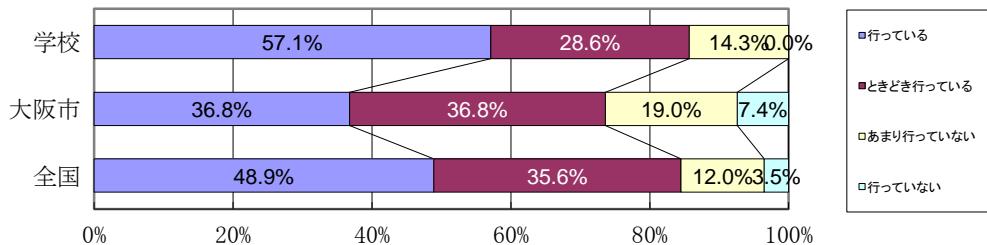
24	これまでの体育の授業で「できなかつたことができるようになった」きっかけ、理由はどのようなものがありましたか
----	---



23	保健体育の授業で「わかる」ことで「できる」ようになつたり、「できる」ことで「わかる」ようになつたりしたことがありますか
----	---



22	保健体育の授業では、友達同士やチームの中で話し合う活動を行っていますか
----	-------------------------------------



成果と課題

保健体育の授業は「楽しい」と肯定的に捉える生徒が多い。授業の中で指導者による声掛けや仲間からのアドバイスによって、達成感を実感している。またICT機器の活用や話し合い活動・協働的な活動を積極的に取り入れ、主体的・対話的な深い学びにつなげている。

今後の取組

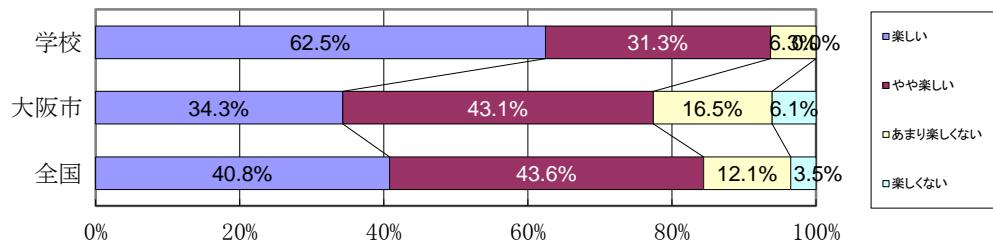
今後も、運動が得意・苦手にかかわらず、個々の目標を明確にさせ、意欲的に取り組む姿勢を培うとともに、ICTの活用、話し合いや協働的な活動を取り入れて、達成感を積み重ねる授業に取り組んでいく。

保健体育の授業について（女子）

質問番号	質問事項
------	------

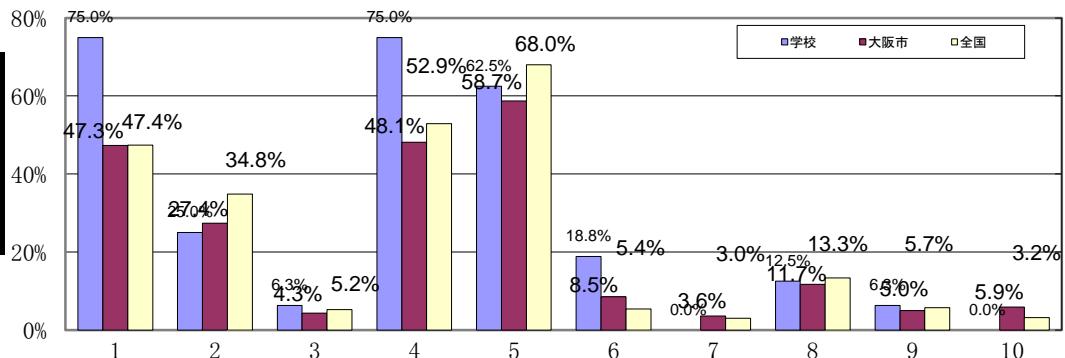
17

保健体育の授業は楽しいですか



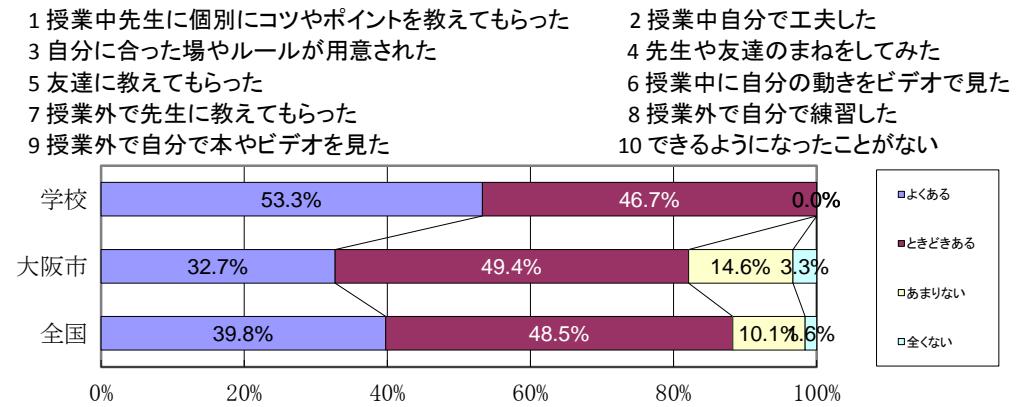
24

これまでの体育の授業で「できなかったことができるようになった」きっかけ、理由はどのようなものがありましたか



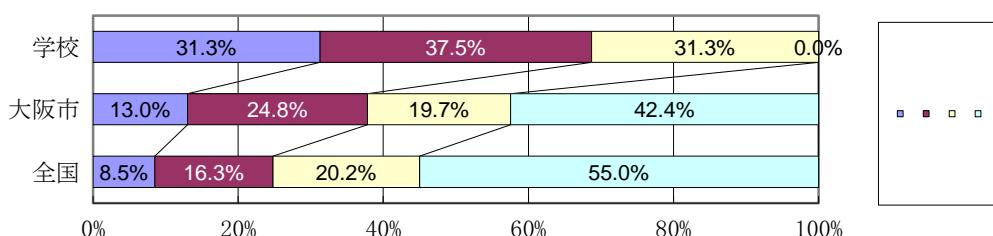
23

保健体育の授業で「わかる」ことで「できる」ようになつたり、「できる」ことで「わかる」ようになつたりしたことがありますか



25

保健体育の授業でビデオ、デジタルカメラ、タブレット端末などを用いて、自分や友達の動きを撮影して活用する活動を行っていますか



成果と課題

保健体育の授業は「楽しい」と肯定的に捉える生徒が多い。授業の中で指導者による声掛けや仲間からのアドバイスによって、達成感を実感している。またICT機器の活用や話し合い活動・協働的な活動を積極的に取り入れ、主体的・対話的な深い学びにつなげている。

今後の取組

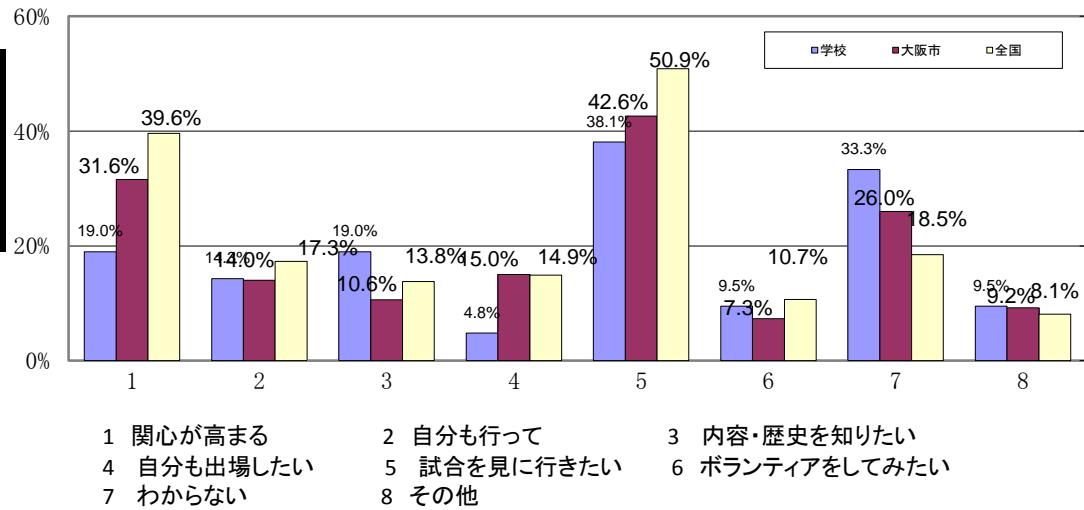
今後も、運動が得意・苦手にかかわらず、個々の目標を明確にさせ、意欲的に取り組む姿勢を培うとともに、ICTの活用、話し合いや協働的な活動を取り入れて、達成感を積み重ねる授業に取り組んでいく。

その他（男子）

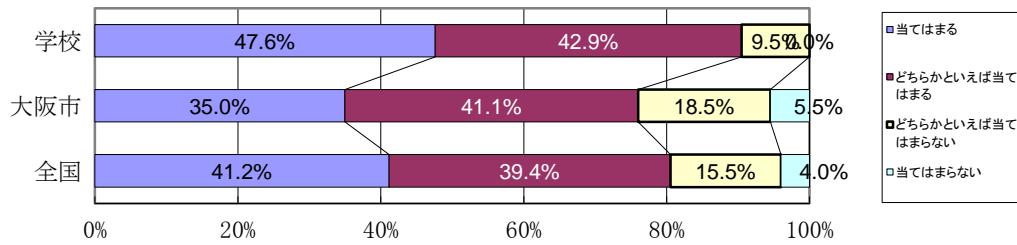
質問番号

質問事項

31
オリンピック・パラリンピックへの気持ち



33
難しいことでも失敗を恐れないで挑戦している



成果と課題

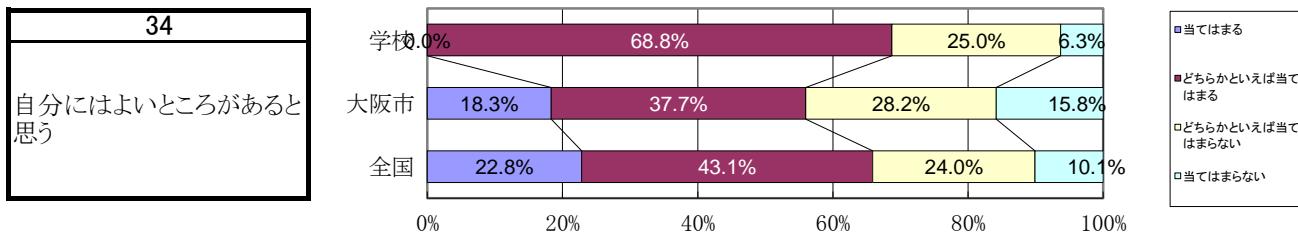
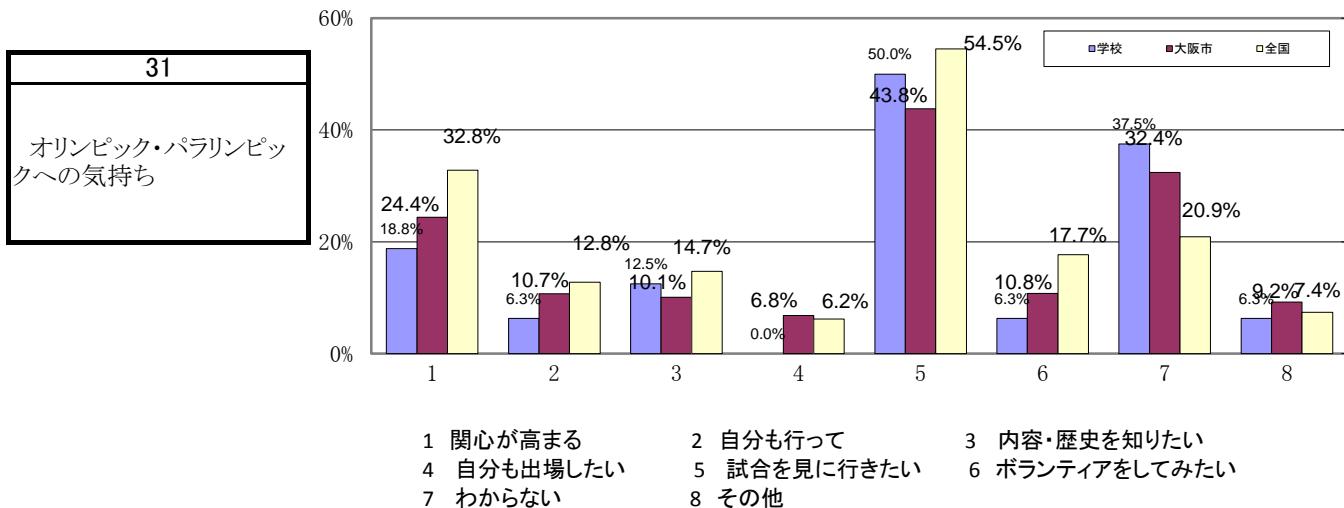
オリンピック・パラリンピックに対して、実感があまりないことがうかがえる。しかし見に行ってみたい、ボランティアをしたい、内容や歴史を知りたいという項目は、全国と比較しても大差はないことから、関心のある生徒も少なくない。運動や体力に自信がある生徒は比較的少ないが、運動に限らず、失敗を恐れず挑戦しようとする意識は高い。

今後の取組

集会や授業の中で紹介するなど、アスリートを身近に感じられるような機会をつくりていきたい。

その他（女子）

質問番号	質問事項
------	------



成果と課題

オリンピック・パラリンピックに対して、実感があまりないことがうかがえる。しかし試合を見に行きたい生徒は多く、内容や歴史が知りたいという項目も全国と比較しても大差はないことから、関心のある生徒も少なくない。

自分にはよいところがあると回答する生徒が比較的多く、自尊感情が高いといえる。運動部でがんばっている生徒や体育大会等の行事で活躍している生徒、その他日常の中で生徒に教員が声掛けをしている成果があらわれている。

今後の取組

集会や授業の中で紹介するなど、アスリートを身近に感じられるような機会をつくりていきたい。